



1.自主防災組織とは？

自主防災組織は、地域住民が自主的に連帯して、防災活動を行う組織のことを言います。

具体的には、平常時は防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給水給食などの活動を行います。



2.自主防災組織はなぜ必要か？

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、住民が一致協力し、地域ぐるみで取り組むことで有効な対策をとることができます。ここに自主防災組織の必要性があります。

阪神・淡路大震災では、救出された人たちの約6割が、家族や近所の方々により救出されたという報告があり、自主的な住民組織の有効性が改めて認識されています。



広島県の自主防災組織

- 広島県では、2,417 団体の自主防災組織があり、県内全世帯の3分の2に当たる 778,855 世帯が加入しています。
- (平成19年10月現在)